



能

三輪
【みわ】

香川 靖嗣(喜多流)

狂言

成上り
【なりあがり】

野村 万蔵(和泉流)

第一部

12時30分開場
13時00分開演

能「三輪」香川靖嗣
(撮影:山口宏子)

第117回 川崎市定期能

能と狂言

2019年8月10日(土) 会場:川崎能楽堂

入場料:各部 4,000円(全席指定)

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

能

頼政
【よりまさ】

中村 邦生(喜多流)

仕舞

鳥追船
【とりおいはね】

友枝 昭世(喜多流)

狂言

腰祈
【こしいのり】

野村 万蔵(和泉流)

第二部

15時00分開場
15時30分開演



能「頼政」友枝昭世
(撮影:東條睦子)

チケット発売日

2019年7月5日(金) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)

* 残券があれば、同日正午より電話・川崎市文化財団ホームページでも販売いたします。

チケット取扱・
お問合わせ

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00(水曜定休日)

* 但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20190810/>

* ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。



beyond
2020

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

* 開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

【第一部】13時開演（12時30分開場）

狂言 成上り シテ 太郎冠者 野村 万蔵 アド主 河野 佑紀
前シテ 里 女 香川 靖嗣 小アドすっぱ 上杉 啓太

能 三輪 宝生 欣哉 大鼓 大倉慶乃助 太鼓 林 雄一郎
後シテ 源頼政の霊 人 中村 邦生 小鼓 森 貴史 笛 栗林 祐輔
アイ所 能村 晶人

後見 友枝 昭世 友枝 真也 友枝 雄人
佐々木多門 地謡 内田 成信 長島 茂
金子敬一郎 狩野 了一

狂言 成上り【なりあがり】

主人と太郎冠者（シテ）は鞍馬の毘沙門天に泊まりがけでお参りに出かけます。ところが眠っている間に、すっぱ（詐欺師）に主人の太刀と青竹をすり替えられてしまいます。太刀を持っていたはずの太郎冠者は目覚めびっくりしますが、何とかごまかそうと、色々なものが成上る話を例に、太刀が青竹に成上ったと言ってみせますがやはり叱られてしまいます。そこに、カモを探してうろうろしていたすっぱが太刀を持って通りかかり…。

能 三輪【みわ】

大和国の三輪山のふもとに庵を結ぶ玄寶僧都のもとに、一人の女が来て、衣を一重ねいだきたいといひます。僧が与えて住家を尋ねると、三輪山の杉のあたりと答えて姿を消します。（中人）

三輪明神に日参している里人が、ご神木の杉の枝に僧都のものらしき衣がかかっているのを見つけ、僧都に知らせます。僧都が神木の前に来てみると、いわれた通り衣がかかっており、その裾に一首の歌が書いてあります。それを読んでいると、杉の木陰から御声がして、女姿の三輪明神が現れ、三輪の妻訪いの神話を語り、天照大神の岩戸隠れの神話を語りつつ神楽を舞います。いつしか夜も明け、僧都の夢も覚めます。

【第二部】15時30分開演（15時開場）

狂言 腰 祈 シテ 祖父 野村 万蔵 アド 山伏 野村 拳之介
小アド 太郎冠者 河野 佑紀

仕舞 鳥追船 友枝 昭世 地謡 金子敬一郎 佐々木多門
内田 成信 狩野 了一

能 頼政 ワキ 旅の僧 宝生 欣哉 大鼓 大倉慶乃助 太鼓 栗林 祐輔
後見 香川 靖嗣 小鼓 森 貴史 笛 栗林 祐輔
アイ里人 野村万之丞

後見 内田 成信 地謡 金子敬一郎 狩野 了一
佐々木多門 友枝 雄人

狂言 腰 祈【こしいのり】

大峰・葛城で修業を積み帰郷した山伏は、祖父（シテ）のもとへ見舞に訪れました。年老いてすっかり腰の曲がった祖父の姿を見て、気の毒に思った山伏が祈禱で直そうと試みますが、効果がありません…。

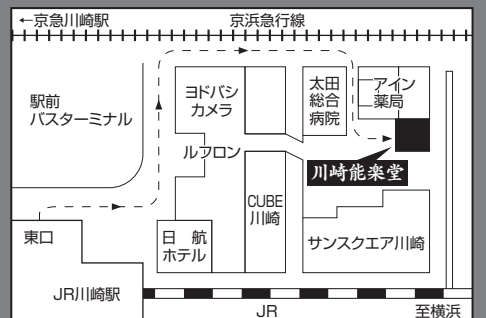
能 頼政【よりまさ】

諸国一見の旅僧（ワキ）が京都から奈良へ向かう途中、宇治の里に立ち寄って人待っていると、折好く一人の老翁（前シテ）が現れたので、僧はこの辺りの名所を尋ねます。老翁は名所を紹介し、ついで平等院へ僧を誘います。老人はかつて源三位頼政がこの場所に扇を敷いて自害したことを話し、自身が頼政の幽霊であると名のり、姿をくらまします。（中人）

夜、頼政の霊（後シテ）が現れ、宇治での合戦の次第を力強く語り、奮戦の様子を見せます。さらに、源平乱戦の有様を見せ、辞世を詠み自害した最期を語り、僧に回向を頼んで、頼政の霊は消えていきます。

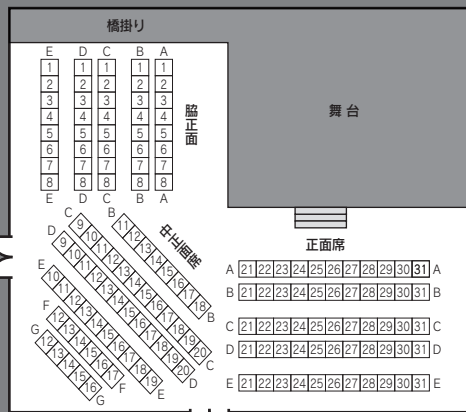
源頼政は怪物鵜を退治したことでも知られる武将ですが、和歌の道にもたけた風流人でもありました。終曲部の扇の芝と辞世の和歌のエピソードなどにもその風流人ぶりがよく現れています。

川崎能楽堂案内図



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス（JR川崎駅まで）品川駅より 約9分 横浜駅より 約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表（148席）



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ

2019年10月12日（土）

狂言全集 第11回

会場：川崎能楽堂
狂言「萩大名」山本 則秀
狂言「地蔵舞」山本東次郎
狂言「附子」山本 則俊
チケット発売：9月6日（金）より川崎能楽堂
窓口にて発売予定（先着順）

2019年12月14日（土）

第118回川崎市定期能

～観世流梅若会～

会場：川崎能楽堂
第1部 狂言「萩大名」三宅右近
能「葵上」角当行雄
第2部 狂言「鐘の音」三宅近成
能「通小町」梅若 実
チケット発売：11月8日（金）より川崎能楽堂
窓口にて発売予定（先着順）